

鳥取県が初めて取り組む約半年にわたる本格的な移住プログラム

首都圏在住の20～40代を対象にした若者起業・地域づくりアカデミー

『鳥取スタートラボ(とりラボ)』を開講

<期間:2015年7月12日(日)～2016年1月31日(日)>

ご取材のお願い 7月12日(日)都内アンテナショップにて第1回講座を開催

鳥取県は、首都圏在住の20～40代の若者世代を対象とした、移住定住促進及びネットワーク化を図る起業・地域づくりアカデミー『鳥取スタートラボ(以下、とりラボ)』を2015年7月12日(日)～2016年1月31日(日)の期間で首都圏と鳥取県で開催します。「地方に移住を希望する人が実際に地方で暮らしていくために何が必要なのか」、「どうやって稼いでいけば良いのか」をよりリアルに体感する全5回のプログラムで、約半年にわたる長期的な施策は、県としても初めての試みになります。

とりラボのコンセプトは「地方での生業をイメージする」。地域活性化や地域課題の解決、まちづくりなどに興味がある方々が集まり、実際に現場のリアルな声を体感しながら地方でどのようなコトが出来るのかをお互いに議論し、考えます。

7月12日(日)には、アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」で第1回講座、ワークショップ「鳥取を知る」を開催。多岐にわたったまちづくりを行う鳥取市鹿野町の団体「いんしゅう鹿野まちづくり協議会」の副理事長小林 清氏をはじめ、八頭(やず)町の「農業による地域おこし」に携わる平賀 謙太氏(ふなおか共生の里づくり推進協議会事務局長)、智頭(ちず)町の「自伐型林業による山づくり」に携わる國岡 将平氏といったゲストスピーカーから地域の魅力や特徴、独自の取組についての活動報告をします。

第2回以降のプログラムでは、7月25日(土)・26日(日)に鳥取を訪れ、地域での暮らしや働きを体感。また、8月22日(土)は、大学生と地域をつなげる活動をしている田中 玄洋氏(NPO法人 学生人材バンク代表・株式会社おむすび代表)による生業モデルワークショップ、2016年1月31日(日)にはこれまでのプログラムを通して考案した「生業モデル」を発表する最終プレゼンが行われます。課題設定を行うスキルや課題解決へのアプローチ法・取組み方、地方で暮らす際の「生業モデル」のデザイン力などを養います。

つきましては、7月12日(日)に都内で開催する第1回講座をご取材頂けますよう、お願い申し上げます。

第1回講座「鳥取を知る」(2015年7月12日(日) 13:30～17:30)

場所:とっとり・おかやま新橋館

(東京都港区新橋一丁目11番7号 新橋センタープレイス2F) ※詳細は次ページをご参照ください

■第1部:今の「とっとり」を知る(地域プレゼンテーション)

→各地域の魅力や特徴・活動発表

■第2部:地方で〇〇してみたい(ワークショップ)

→予算は無限、制約もゼロでそれぞれの地域でやってみると面白そうなコトを考えます。

『鳥取スタートラボ(とりラボ)』開催概要 ※詳細は次ページをご参照ください

【実施期間】 2015年7月12日(日)～2016年1月31日(日)

【実施内容】 ■第1回講座:「鳥取を知る(2015年7月12日(日))

■第2回講座:「鳥取を体感する」(2015年7月25日(土)・26日(日))

■第3・4回講座:「生業モデルを考える」(2015年8月22日(土)・11月7日(土))

■最終プレゼン(2016年1月31日(日))

【対象者】 20代～40代の男女 約15名

【企画・運営】 鳥取県 若者人材誘致事業 鳥取スタートラボ事務局

【イベントHP】 ・鳥取県とっとり暮らし支援課(<http://www.pref.tottori.lg.jp/178856.htm>)

・公式facebookページ(<https://www.facebook.com/torilabo2015>)



<「とっとり・おかやま新橋館」アクセス>

- ・東京メトロ銀座線「新橋」駅
3番出口 ※ビル直結 徒歩すぐ
- ・JR「新橋」駅(銀座口) 徒歩約1分
- ・都営浅草線「新橋」駅 徒歩約2分
- ・新交通ゆりかもめ「新橋」駅 徒歩約3分

<本リリースに関するお問い合わせ先>

鳥取県元気づくり総本部元気づくり推進局とっとり暮らし支援課 (担当)中田 TEL:0857-26-7128 / FAX: 0857-26-8196
鳥取スタートラボ事務局 (担当)小谷 080-1403-5702

プログラムスケジュール

※第2回講座～最終プレゼンまでの企画内容については多少変更になる場合があります。

第1回講座:「鳥取を知る」(2015年7月12日(日) 13:30～17:30) 場所:とっとり・おかやま新橋館

◆鳥取という地域で活動するコト、暮らすコトのリアルを実際の活動家から聞いて考える講座とワークショップ



時間	プログラム	内容
13:30	開講	
13:35～	①挨拶・アイスブレイク ②とりラボが目指すコト ③自己紹介	
14:00～	第1部 今の「とっとり」を知る (地域プレゼンテーション: 各地域の魅力や特徴、活動 発表)	八頭町:ふなおか共生の里づくり推進協議会事務局長 平賀 謙太氏 「八頭という地域のおハナシ」
		～休憩～
		鳥取市鹿野町:いんしゅう鹿野まちづくり協議会副理事長 小林 清氏 「鹿野という地域のおハナシ」
		智頭町:自伐型林業家集団 國岡 将平氏 「智頭という地域のおハナシ」
15:40～	～休憩～	
16:00～	第2部 ワークショップ 「地方で〇〇してみたい」	参加者の皆さんは地域で面白いコトをすることを使命とした「面白仕掛人」。 予算は無限、制約もゼロで、それぞれの地域でやってみると面白そうな コトを考える。3つのグループに分かれ、講師を交えてブレインストーミング を行い、意見の否定をせずにどんどんアイデアを出していく。
17:00～		「地方で〇〇してみたい」の各グループ発表。1グループ10分以内で発表。 質疑応答はないが、各グループのアイデアをより面白くする提案を行う。
17:30～	今後の流れについて	

第2回講座:「鳥取を体感する」(2015年7月25日(土)・26日(日)) 場所:鳥取県鳥取市鹿野町・八頭町・智頭町

◆実際に鳥取を訪れる。鳥取でそれぞれの生業、生活を体感するワークショップ

プログラム	内容
1日目:『鹿野』地域を体感する	いんしゅう鹿野まちづくり協議会と考える『「まちと人」の関わり方』
2日目:『八頭』『智頭』地域を体感する	【八頭】生業メイカーに会いに行こう! 地域での生業をリアルに体感する
	【智頭】地域の90%が森。地場の資源を活かして働くを体感する

第3回・4回講座:「生業モデルを考える」(2015年8月22日(土)・11月7日(土))

◆もし鳥取に住むなら?どんな課題を解決し、何で生きていくか。を考えるワークショップ

プログラム	内容
第1回とりラボゼミ①:生業モデルワークショップ	地方で生きていくための生業について「何をするか」「どんな モデルでいくか」をワークショップを通して議論し、考える。
第2回とりラボゼミ②:進捗共有会	最終のプレゼンテーションに向けて、生業モデルのブラッシュアップやプレゼンテ ーションの方法などを考える。 【講師】田中 玄洋氏(NPO法人学生人材バンク代表・株式会社おむすび代表)

最終プレゼン(2016年1月31日(日)) 場所:移住・交流情報ガーデン ◆自分たちで考えた生業モデルを発表する会

プログラム	内容
第3回とりラボゼミ③: ファイナルプレゼンテーション	自分達で考えた生業モデルを発表します。

<参考>鳥取県が取り組む移住定住施策について

【情報①】「IJU(移住)ターン4千人・とっとり暮らし推進チーム」設置

人口減少問題を抱えた鳥取県が、県への移住・定住を目的に2011～2014年度までの4年間で、移住者2000人受入目標を達成するため行った「移住2000人達成事業」は2013年3月に県外からの移住者数が2172人となり、1年早く目標を達成。2014年度には移住者が3000人を超えました。2015年度より、就職・創業・就農や子育て移住・アクティブシニア移住などを視野に、さらなる移住・定住者の促進を図るため、「IJUターン4千人・とっとり暮らし推進チーム」を設置しました。2015年～2018年度の4年間で移住者数4000人の達成を目標とし、情報発信の強化や、地域における受け皿づくりを行っており、今後も移住・定住者の増加が期待されています。

【具体施策】

・“とっとり暮らし”の情報発信強化

→鳥取県に目が向いていない層に対して、移住定住情報発信の首都圏3大拠点や関西拠点を軸に、全国に向けて鳥取県の強みを活かした情報発信に取り組む

<首都圏3大拠点>

移住・交流情報ガーデン(東京駅)、ふるさと回帰支援センター(有楽町駅)
とっとり・おかやま新橋館(新橋駅)

<関西拠点>

ふるさと回帰支援センター(大阪府・堺筋本町)



移住・交流情報ガーデン



ふるさと回帰支援センター

・移住の動機となる受け皿体制の充実

→移住者の受け皿となる地域組織・団体を増やすとともに、住まいの支援、子育て・教育環境の充実を図る

・移住に不可欠な「しごと」の充実

→これまでの就職・就農の取組に加え、仕事を有する(興す)人材の誘致、プロフェッショナル人材の還流、学卒Uターンの強化、人材誘致とセットでの企業誘致などに取り組む



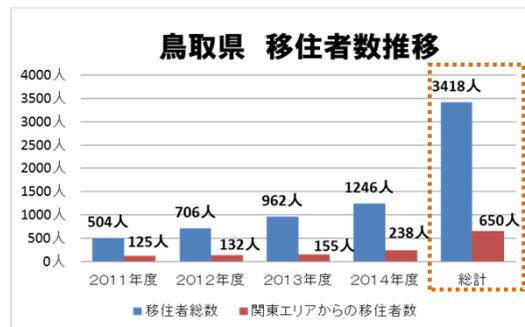
とっとり・おかやま新橋館

<参考URL>

鳥取県公式ホームページ とりネット <http://www.pref.tottori.lg.jp/>

とっとり移住定住ポータルサイト「鳥取来楽暮(こらぼ)」 <http://furusato.tori-info.co.jp/iju>

【移住者数の推移(2011～2014年度) ※全体及び関東エリアからの移住者数】



■移住者総数

2011年度 504人 / 2012年度 706人
/ 2013年度 962人 / 2014年度 1246人 計3418人

■関東エリアからの移住者数

2011年度 125人 / 2012年度 132人
/ 2013年度 155人 / 2014年度 238人 計650人

※「鳥取県への移住状況について(平成26年度末現在)」より引用して作成

<首都圏での今後のイベント>

■IJUターン説明会「住む・働く・鳥取県 移住フェアin東京」開催



鳥取県へのIJU(移住)ターンをご希望の方を対象に、県内15の市町村の紹介や、各支援制度の説明、農林業への就業等に関する相談ができるイベントを開催します。移住の先輩である“とっとり暮らしアドバイザー”も参加。是非この機会に、IJUターンに関する不安や悩みを相談し、移住定住の足がかりとしてはいかがでしょうか。

<開催概要>

【日時】2015年7月11日(土) 11:00～16:00

【会場】東京交通会館12階 カトリアサロンA(東京都千代田区有楽町2-10-1)

【参加費】無料

【主催】鳥取県移住定住サポートセンター(公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構)

<開催内容>

■移住相談 / 農林業就業相談 / 起業相談 / 就職相談

11:00～16:00(受付:11:00～15:00)

■とっとり暮らしセミナー

13:00～14:30(予定)



前回の「住む・働く・鳥取県 移住フェアin東京」の様子